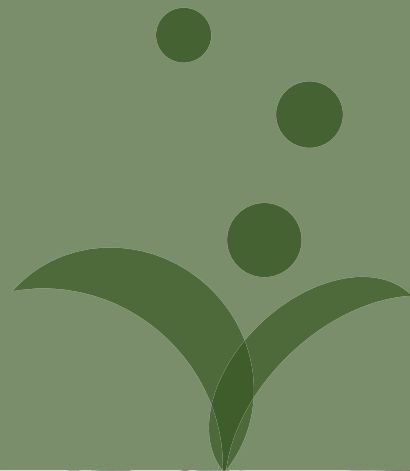


環境報告書



大阪教育大学

国立大学法人



OSAKA KYOIKU
UNIVERSITY

2018

も

く

じ

1 学長挨拶

2 環境方針、大阪教育大学環境報告書2018の作成にあたって

3 環境マネジメント組織

4 大学概要

- 大阪教育大学各キャンパス
 - 団地の所在地
 - 柏原キャンパスマップ配置図

5 環境配慮実施計画（平成29年度の実施計画及び評価・目標）

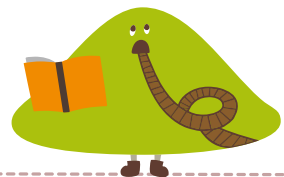
6 マテリアルバランス

7 環境負荷データ

8 環境マネジメント活動の推進

- 環境教育、研究活動の取り組み
 - 学内での取り組み
 - 環境保全活動の状況
 - 安全安心への取り組み
 - 地域社会への取り組み
 - 大学生協での取り組み

9 第三者意見



10 環境報告書ガイドライン対応表

表紙と裏表紙について

表紙：学生会館 M棟 前の庭に植わっている南天です。

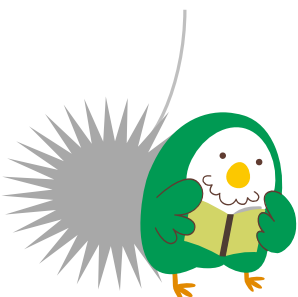
縁起木として植える常緑低木で、赤い果実には咳止め効果があります。

大阪教育大学のシンボルカラーに似ているような・・・？

裏表紙：秋に緑→橙→赤→紫へと紅葉し、実は種を飛ばしたあとに殻を落とします。

冬は落葉し、わずかに残った実が風に揺られる姿がみられます。

＼ おまけ ＼
ショウリョウバッタを発見！



学長挨拶

大阪教育大学は1874年の教員伝習所設立以来、140年を超える歴史の中で、教員養成を中心とした教育によって高い評価を受けてきました。とりわけ本学が重視し、注力してきたことは、広い教養を背景とする高度な専門知識の習得と、教育現場を中心とする様々な職業分野における実践力の養成です。その伝統に基づきつつ、長年にわたり、教育界や社会に貢献する人材を数多く輩出してきました。

実践型の教員養成及び教育・学習支援分野への人材養成を使命とする本学において、どの分野においても、環境マインドを持った人材を養成することは非常に重要な意義があります。本学ではこの環境報告書で紹介する様々な取り組みを実践しておりますが、そうした取り組みを行う中で、本学の学生がここで学んだことを次の子供たちの世代へと伝えていく、環境マインドを継承していくという好循環が実現することを願っています。そのために、大学としては教育面や運営面において、ソフト・ハードともに、様々なプログラムを実施していきたいと考えております。

また現在、世界は歴史の大きな転換点に立っています。国連でSDGsが採択され、COP21でパリ協定が採択されました。本学も昨年度より、こうした国際的な動向にコミットするため、この分野における日本の大学間ネットワークであるサステイナブルキャンパス推進協議会（CAS-Net JAPAN）に参加しています。このネットワークを通じて、他大学の先進的な取り組み事例に学び、採用できることは積極的に採用し、キャンパスにおける環境配慮活動等をとおして、地球温暖化対策に貢献したいと考えております。

最後に、本学の学生・教職員の皆様には、ぜひとも学内外で行われる環境への取り組みに積極的にご参加いただき、環境マインドを培って頂くことを期待しています。また、ステークホルダーの皆様には、これからも本学へのご指導ご鞭撻をお願いいたします。



国立大学法人大阪教育大学長

栗林澄夫

環境方針

基本方針

大阪教育大学は、地球環境の保全が大きな問題であることを真摯に受け止め、教育研究及びあらゆる活動を通じて、地域を含めた良好なキャンパス環境の維持保全に努めます。

また、教員養成系大学として高い学識と豊かな教養をもち、環境問題に理解のある人材を育成します。このため、特に次の事項について推進して行きます。

1. 省エネルギー、廃棄物の抑制、資源の再利用、環境汚染防止等全ての環境負荷の低減に継続的に取り組みます。
2. 美しく豊かなキャンパス環境の実現に向けた緑化整備、環境美化等について、全ての大学構成員の参加によるプログラムを推進します。
3. 環境に関する法令を遵守し、さらに自主管理規程を制定し、大学の社会的責任を果たします。
4. この基本方針を達成するため、環境配慮目標を設定し、環境情報を提供するなど、全ての大学構成員により、環境保全に取り組みます。
5. この方針は、BBS（電子掲示板）をもって全構成員に周知するとともにインターネットのホームページを用いて、広く社会に開示します。



平成30年9月

国立大学法人大阪教育大学
学長 栗林 澄夫

大阪教育大学環境報告書2018の作成にあたって

作成方針

「環境情報の提供の促進等による特定事業者等の環境に配慮した事業活動の促進に関する法律（環境配慮促進法）」の施行により、平成18年度より大阪教育大学では、環境報告書を作成、公表してまいりました。大阪教育大学は平成16年4月に法人化し、国立大学の自律的な運営が求められる中、省エネの取り組み、古紙のリサイクル等環境負荷削減に取り組んでまいりましたが、なお一層の努力が必要であると考えております。大阪教育大学環境報告書2018は、本学の教職員、学生のみならず、本学の卒業生、OB・OG、本学への入学を希望されている方々、保護者及び近隣住民等のステークホルダーに対して、平成29年度の大阪教育大学の環境についての現状を報告するものとして作成いたしました。

報告書の対象範囲

大阪教育大学柏原キャンパス

報告書の対象期間

平成29年度（2017年4月～2018年3月）

※但し一部内容については2018年6月までの内容を含む。

参照ガイドライン等

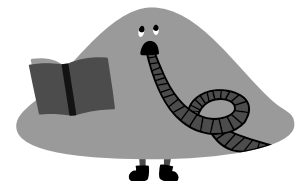
- ★ 「環境情報の提供の促進等による特定事業者等の環境に配慮した事業活動の促進に関する法律」に基づく「環境報告書の記載事項」
- ★ 環境省「環境報告書の記載事項等の手引き」
- ★ 環境省「環境報告ガイドライン（2012年版）」

発行年月

平成30年9月

次回発行予定

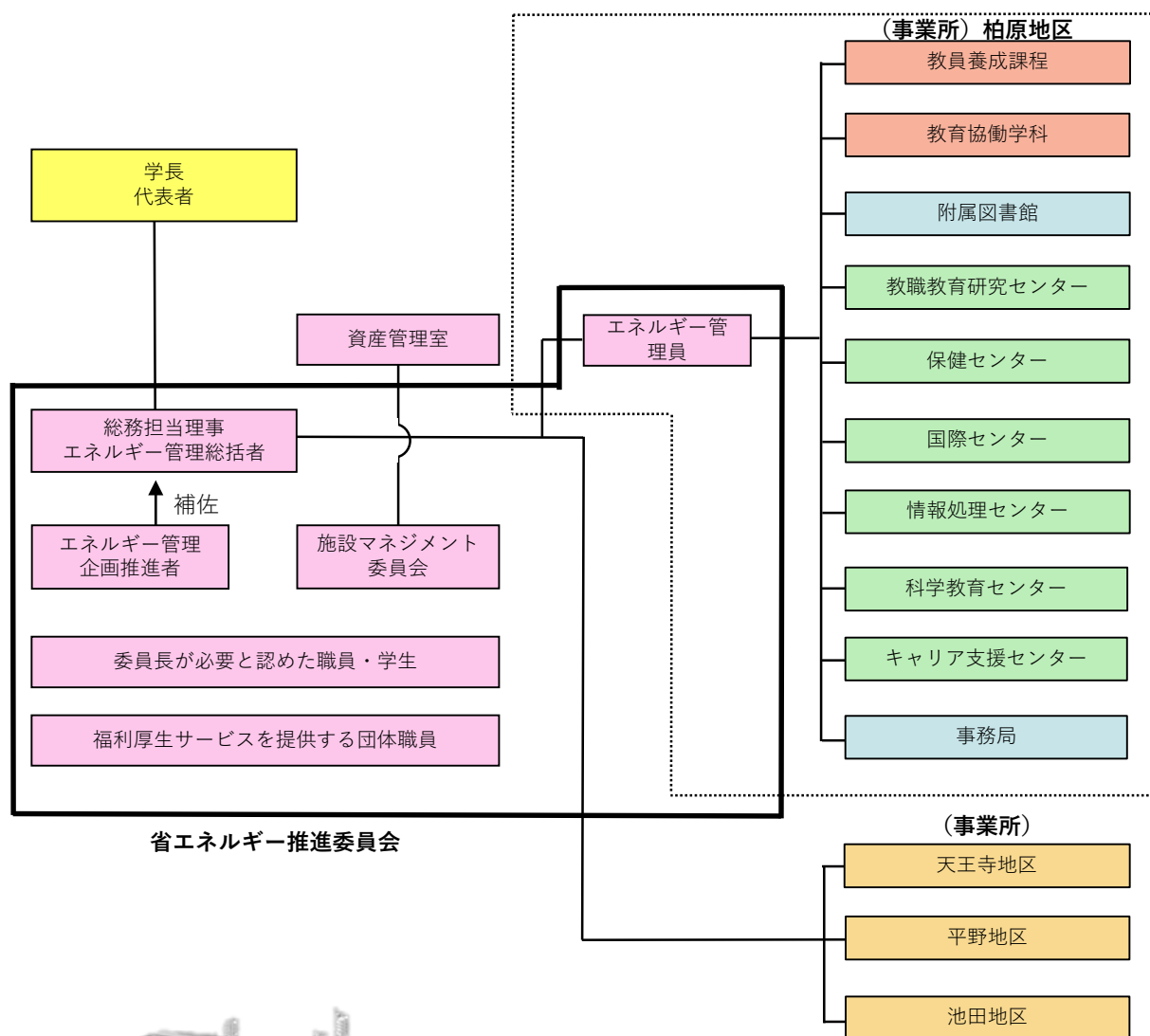
平成31年9月



環境マネジメント組織

本学は、省エネルギー及び温室効果ガス排出抑制を着実に効果的に推進するため、学長のもと下図のようなエネルギー管理体制かつ温室効果ガス排出抑制推進体制を整備、運用しています。省エネルギー推進委員会には、本学の学生や生協職員にも入ってもらい、オール大教大で取り組んでいます。

大阪教育大学エネルギー管理組織及び温室効果ガス排出抑制推進体制

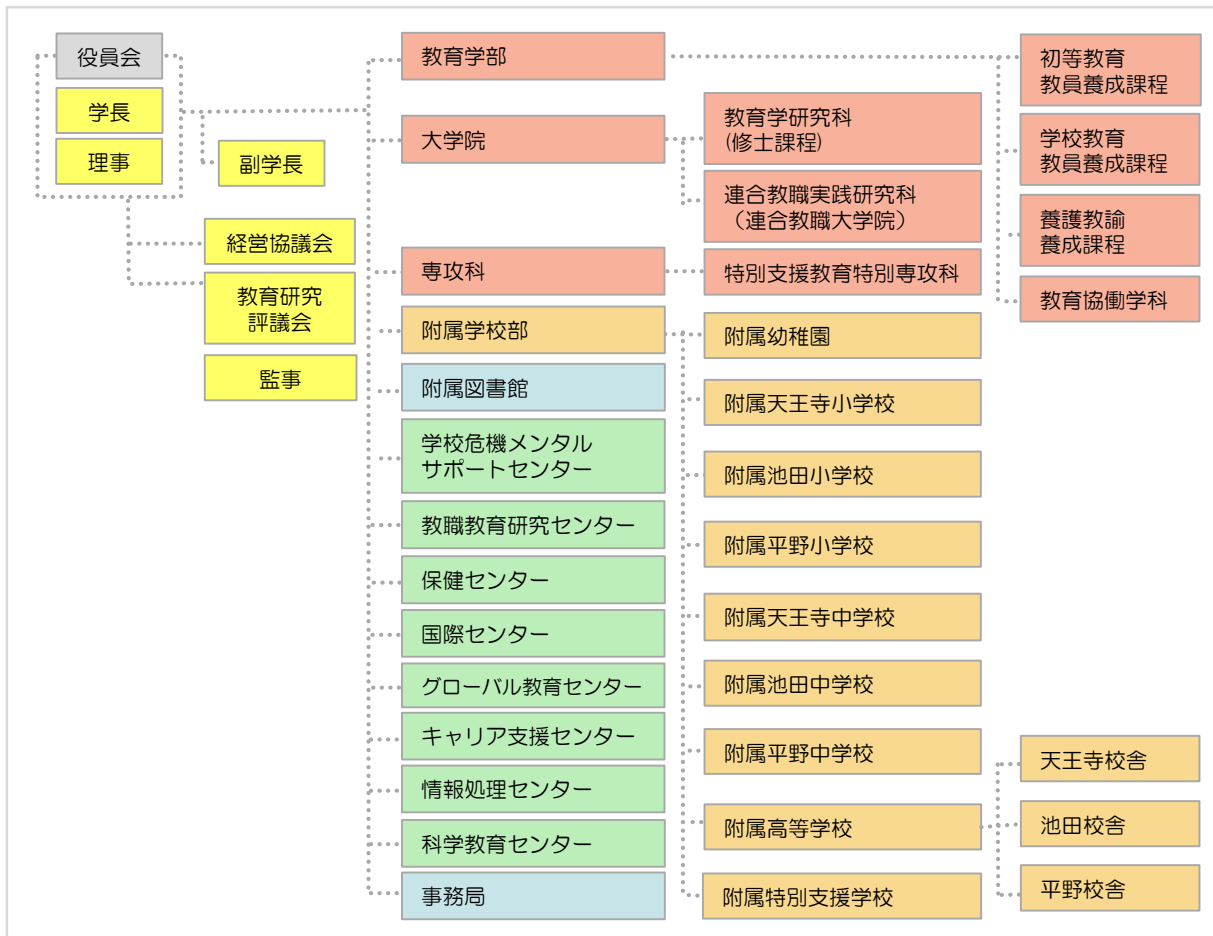


大学概要

大阪教育大学は、1874年（明治7年）5月の教員伝習所設置以来、140年を超える歴史と伝統を有する我が国固有数の教育大学です。

現在の大阪教育大学は、大阪府柏原市の金剛生駒紀泉国定公園内に約67万m²のメインキャンパスを配置し、教員養成教育と教養教育を通じて有為な人材を輩出する一方、国際都市として交通アクセスはもとより情報・産業の中核機能を有する大阪市内に天王寺キャンパスを擁しています。さらに大阪市天王寺区、平野区及び大阪府池田市の3地区に初等・中等教育並びに特別支援教育に対応した11の附属学校園を設置し、総合的な教育系大学をめざしています。

1. 組織



2. 職員数（平成30年5月現在）

学長	1	教授	152
理事	4	准教授	86
監事	2	講師	17
合計	7	助教	2
		附属学校教員	269
		事務系職員	161

3. 学生数 外国人留学生は内数で記入

■教育学部

教員養成課程・教養学科・教育協働学科		第二部小学校教員養成	
教員養成課程	2,201	1年次入学	133
教養学科	933	3年次編入学	140
教育協働学科	712	合計	273
合計	3,846		

■大学院

教育学研究科	381
連合教職実践研究科	73
特別支援教育特別専攻科	32

（平成30年5月現在）

大 阪教育大学各キャンパス



柏原キャンパス



天王寺キャンパス



大阪教育大学公式キャラクター

たまごどり

やまお



平野地区附属学校園
(幼稚園、小学校、中学高等学校)



池田地区附属学校
(小学校、中学高等学校)

団地の所在地

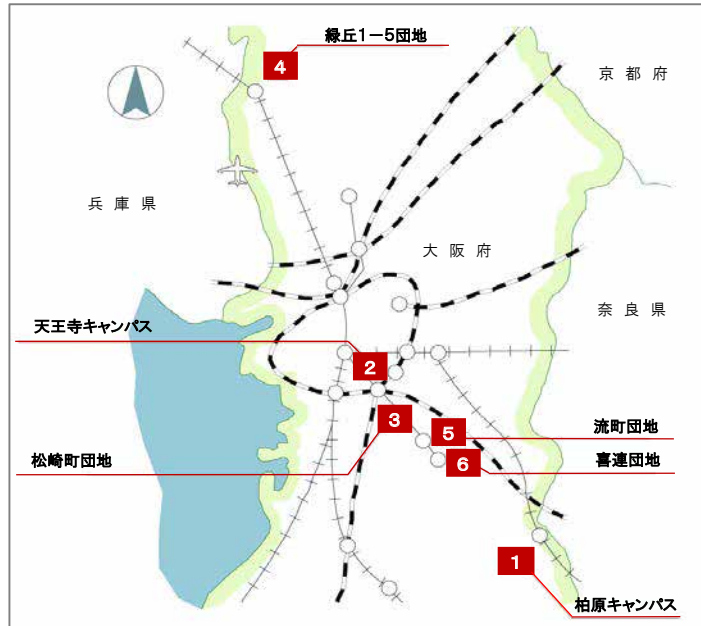
柏原地区	
1	柏原キャンパス 大阪府柏原市旭ヶ丘4-698-1

天王寺地区	
2	天王寺キャンパス 大阪市天王寺区南河堀町4-88 附属天王寺中学校・附属高等学校天王寺校舎 大阪市天王寺区南河堀町4-88

3	松崎町団地 附属天王寺小学校 大阪市阿倍野区松崎町1-2-45
----------	---------------------------------------

池田地区	
4	緑丘1-5団地 附属池田小学校 池田市緑丘1-5-2 附属池田中学校 池田市緑丘1-5-1 附属高等学校池田校舎 池田市緑丘1-5-1 学校危機メンタルサポートセンター

平野地区	
5	流町団地 附属幼稚園 大阪市平野区流町2-1-79 附属平野小学校 大阪市平野区流町1-6-41 附属平野中学校 大阪市平野区流町2-1-24 附属高等学校平野校舎 大阪市平野区流町2-1-24
6	喜連団地 附属特別支援学校 大阪市平野区喜連4-8-71



キャンパスの特徴

大阪教育大学には柏原キャンパスの他、天王寺キャンパス及び11の附属学校園が設置されている。大阪市内の天王寺地区及び平野地区、大阪府北部の池田地区に分かれて置かれ、いずれも大学との連携のもと、教育研究・教育実践・教育実習の場として重要な役割を果たすとともに、それぞれ地区ごとに連絡進学をはじめさまざまな相互連携をとり、下記のような特徴を持っている。

★柏原キャンパス

平成元年より天王寺、平野、池田より統合移転し、大学の本部を置くキャンパスである。

★天王寺地区

教育学部（夜間）、連合教職大学院（夜間）と附属天王寺小学校、附属天王寺中学校・附属高等学校天王寺校舎を有するキャンパスで「基礎・基本の確かな育成」「中高一貫教育の長い歴史」を目標にしている。

★池田地区

附属池田小学校、附属池田中学校・附属高等学校池田校舎を有するキャンパスで「生きる力の育成・国際教育の基盤作り」「国際教育・国際理解教育と異文化交流」を目標にしている。

★平野地区

附属幼稚園、附属平野小学校、附属平野中学校・附属高等学校平野校舎、附属特別支援学校を有するキャンパスで「相互連携した教育・研究」「5校園構想への取組みと異校種交流学习」を目標にしている。

柏原キャンパスマップ配置図



1 共通講義棟 (A棟)

大小の講義室、実験教室、情報処理実習室、CALL (コンピュータ支援語学学習) 教室、ロカールームの他に、外国語学習支援ルームやICT教育支援ルームがあります。



2 教育協働学科棟 (B棟)

主に教育協働学科の講義室、実習室、研究室などがあります。憩いの場である「レモンルーム」や壁一面のホワイトボードスペース「ガリレオボード」もあります。



3 教員養成課程棟 (C棟)

主に教員養成課程の講義室、実習室、研究室などがあります。入試課はC1棟1階にあります。憩いの場である「メロンルーム」や障がい学生修学支援ルームもあります。



4 附属図書館 (D棟)

約90万冊の資料が利用できる閲覧室やアクティブラーニングが可能なまなびのひろば・グループ学習室を設置しています。院生スタッフによる学習サポートも行っています。



5 情報処理センター (E棟)

情報化の推進と情報システムの円滑な運用に、教育研究の発展に寄与することを目的としています。ネットワーク実習室、マルチメディア実習室、オープンLANスペースなどがあります。



6 美術棟 (F棟)

絵画室、デザイン室、書道室、講義室、彫刻室、金工室、立休室、木工室、窯工室、研究室などがあります。



7 工房棟 (G棟)

彫刻室、金工室、立休室、木工室、窯工室、研究室などがあります。



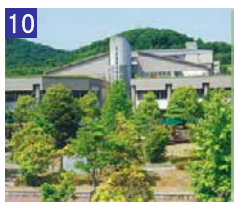
8 体育・スポーツ棟 (H棟)

実験実習室、講義室、セミナー室、研究室などがあります。



9 音楽棟 (K棟)

リハーサルホール、実習室、練習室、講義室、研究室などがあります。



10 学生会館 (M棟)

Dining TERRA、第二食堂、レストランFORET、喫茶 (SUN Cafe)、Shopアイリス (書籍購買) などがあり、学生の憩いの場となっています。



11 事務局棟 (N棟)

学務部のほか、管理部、学術部などがあります。



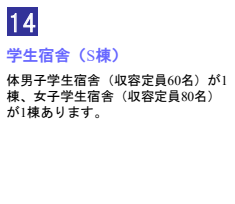
12 体育館 (P棟)

大メインアリーナ、サブアリーナ、器械運動場、第一武道場、第二武道場、ダンスルーム、トレーニングルームなどがあります。



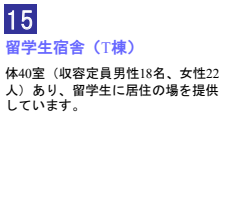
13 課外活動共用施設 (R棟)

体育系共用室、文化系共用室、合宿室などがあり、課外活動の拠点になっています。



14 学生宿舎 (S棟)

体男子学生宿舎 (収容定員60名) が1棟、女子学生宿舎 (収容定員80名) が1棟あります。



15 留学生宿舎 (T棟)

体40室 (収容定員男性18名、女性22人) あり、留学生に居住の場を提供しています。



環境配慮実施計画 平成29年度の実施計画、評価



大阪教育大学の環境配慮の目標は、「省エネルギー・省資源の推進」「廃棄物の抑制」「環境汚染防止」「環境教育等の充実」「地域貢献」「喫煙対策」「学内美化」の項目を実施計画とし、進めていきます。

省エネルギー・省資源の推進 (自己評価の●は計画達成、▲は一部達成、×は未達成を示します。)

項目	実施計画	自己評価	備考
エネルギー使用量・温室効果ガスの削減	<ul style="list-style-type: none"> エネルギー使用量及び温室効果ガス排出量を関係法令等に従い削減する。 空調を更新する際は、高効率機器の採用を推進する。また、フロン法に基づき、簡易点検及び定期点検を行い、空調の劣化を未然に防ぐ。 掲示物等で省エネの啓発を行う。 廊下・トイレ等の照明の自動点灯・消灯装置への更新、教室等の照明器具のLED化等照明器具等への更新、省エネに配慮した機器、システムの導入を推進する。 	▲	エネルギー使用量については、例年に比して夏の猛暑であったため、目標の削減に至らなかった。以下の計画については、達成しています。
水使用量の節減	<ul style="list-style-type: none"> 掲示物等で節水の啓発を行う。 トイレ等の改修を行う際は、節水器具の導入を推進する。 	●	

廃棄物の抑制

一般廃棄物の排出抑制	<ul style="list-style-type: none"> 分別回収の徹底を強化する。 大学生協のランチボックス等をリサイクルする。 掲示によるマナー啓発活動の展開をする。 	●	
用紙使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> 用紙の両面利用を推進し、使用量の節減を図る。 学内連絡や会議用資料の説明保存等を紙から電子記録媒体にする。 	●	

環境汚染防止

実験廃棄物等の管理	<ul style="list-style-type: none"> 学長統括の下、大阪教育大学実験廃棄物等管理委員会において適正管理する。 	●	
実験廃棄物の廃棄	<ul style="list-style-type: none"> 大阪教育大学実験廃棄物等取扱規程に基づき、実験廃棄物を排出する実験廃棄物取扱者が、実験廃棄物等取扱責任者の指導監督の下、廃棄処分する。 	●	
実験用劇物等の管理	<ul style="list-style-type: none"> 購入者がその都度、薬品名・薬品番号・購入単位・購入年月日・受入量・使用者を受払簿に記載する。 大量の物は屋外の鍵付き保管倉庫に、少量の物は屋内実験室等の鍵付き保管庫に保管する。 受払簿は保管庫倉庫内と保管庫内に保管する。 受払簿は使用する毎に記載する。 	●	

環境教育等の充実

環境教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> 教材園での栽培を通して、自然環境の大切さを学ばせる。 	●	
環境マインドの醸成	<ul style="list-style-type: none"> 春と秋にキャンパスクリーン等の企画を含む大教大ecoウィークを行い、自分達を取り巻く環境を自分達の手で綺麗にすることにより、環境マインドの醸成を図る。 	●	

地域貢献

森林体験学習	<ul style="list-style-type: none"> 柏原市との連携協定に基づく、近隣の小学生を対象とした森林体験学習を本学学生ボランティアにより実施する。 	●	
グリーンアドベンチャ (社団法人青少年交友協会)	<ul style="list-style-type: none"> キャンパス内に設定されたコース上の植物の名前や生態を付設ボードのクイズを解きながら学習し、キャンパスを廻る野外活動で近隣地域の住民にも開放する。キャンパスの豊かな自然の中で自然に親しみ、植物をとおして生命の尊さとそれを育む環境保全の大切さを体感させる。 	●	
その他	<ul style="list-style-type: none"> 星空を観察するという身近な方法で大気の汚れを実感し、大気汚染問題に対して関心をもって頂くことを目的とした「星空の観察会」の実施。 幼稚園の遠足及び国際フェスティバル等の場所を提供する。 	●	

禁煙対策

構内全面禁煙	<ul style="list-style-type: none"> 受動喫煙防止対策として、2015年10月1日より実施している構内全面禁煙を継続する。 	●	
啓発活動	<ul style="list-style-type: none"> 喫煙者に対する健康意識の高揚や喫煙マナー向上に向けたPR活動を推進する。 	●	

学内美化

雑草の刈り取りと ゴミの一斉収集	<ul style="list-style-type: none"> キャンパスクリーン週間を年間2回設け、教職員と学生による一斉雑草刈りとゴミの収集を行い、環境美化を図る。また、この週間中以外でも道具を貸し出し、有志で環境美化が実施できる対応とする。 	●	
植栽の剪定	<ul style="list-style-type: none"> 期日を決め定期的に剪定や草刈の実施をする。 	●	



環境配慮実施計画 平成30年度の目標



省エネルギー・省資源の推進

項目	実施計画
エネルギー使用量・温室効果ガスの削減	<ul style="list-style-type: none"> ■ エネルギー使用量及び温室効果ガス排出量を関係法令等に従い削減する。 ■ 旧フロンガスを使用する機器、老朽化した空調機器を更新する際は、高効率機器の採用を推進する。 ■ フロン法に基づき、点検を行い、空調の劣化を未然に防ぐ。 ■ 教室等の照明器具の更新を行う際は、LED化、高効率器具等への更新し、省エネに配慮した機器の導入を推進する。 ■ 掲示物等で省エネの啓発を行う。 ■ 年2回のecoキャラバンを実施し、構成員へ、省エネや空調簡易点検の協力依頼を行う。
水使用量の節減	<ul style="list-style-type: none"> ■ 掲示物等で節水の啓発を行う。 ■ トイレ等の改修を行う際は、節水器具の導入を推進する。

廃棄物の抑制

一般廃棄物の排出抑制	<ul style="list-style-type: none"> ■ 分別回収の徹底を強化する。 ■ 大学生協のランチボックス等をリサイクルする。 ■ 掲示によるマナー啓発活動の展開をする。
用紙使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ■ 用紙の両面利用を推進し、使用量の節減を図る。 ■ 学内連絡や会議用資料の説明保存等を紙から電子記録媒体にする。

環境汚染防止

実験廃棄物等の管理	■ 学長統括の下、大阪教育大学実験廃棄物等管理委員会において適正管理する。
実験廃棄物の廃棄	■ 大阪教育大学実験廃棄物等取扱規程に基づき、実験廃棄物を排出する実験廃棄物等取扱者が、実験廃棄物等取扱責任者の指導監督の下、廃棄処分する。
実験用劇物等の管理	<ul style="list-style-type: none"> ■ 購入者がその都度、薬品名・薬品番号・購入単位・購入年月日・受入量・使用者を受払簿に記載する。 ■ 大量の物は屋外の鍵付き保管倉庫に、少量の物は屋内実験室等の鍵付き保管庫に保管する。 ■ 受払簿は保管庫倉庫内と保管庫内に保管する。 ■ 受払簿は使用する毎に記載する。

環境教育等の充実

環境教育の充実	■ 教材園での栽培を通して、自然環境の大切さや環境保全等について学ばせる。
環境マインドの醸成	■ 春と秋にキャンパスクリーン等の企画を含む大教大ecoウィークを行い、自分達を取り巻く環境を自分達の手で綺麗にすることにより、環境マインドの醸成を図る。

地域貢献

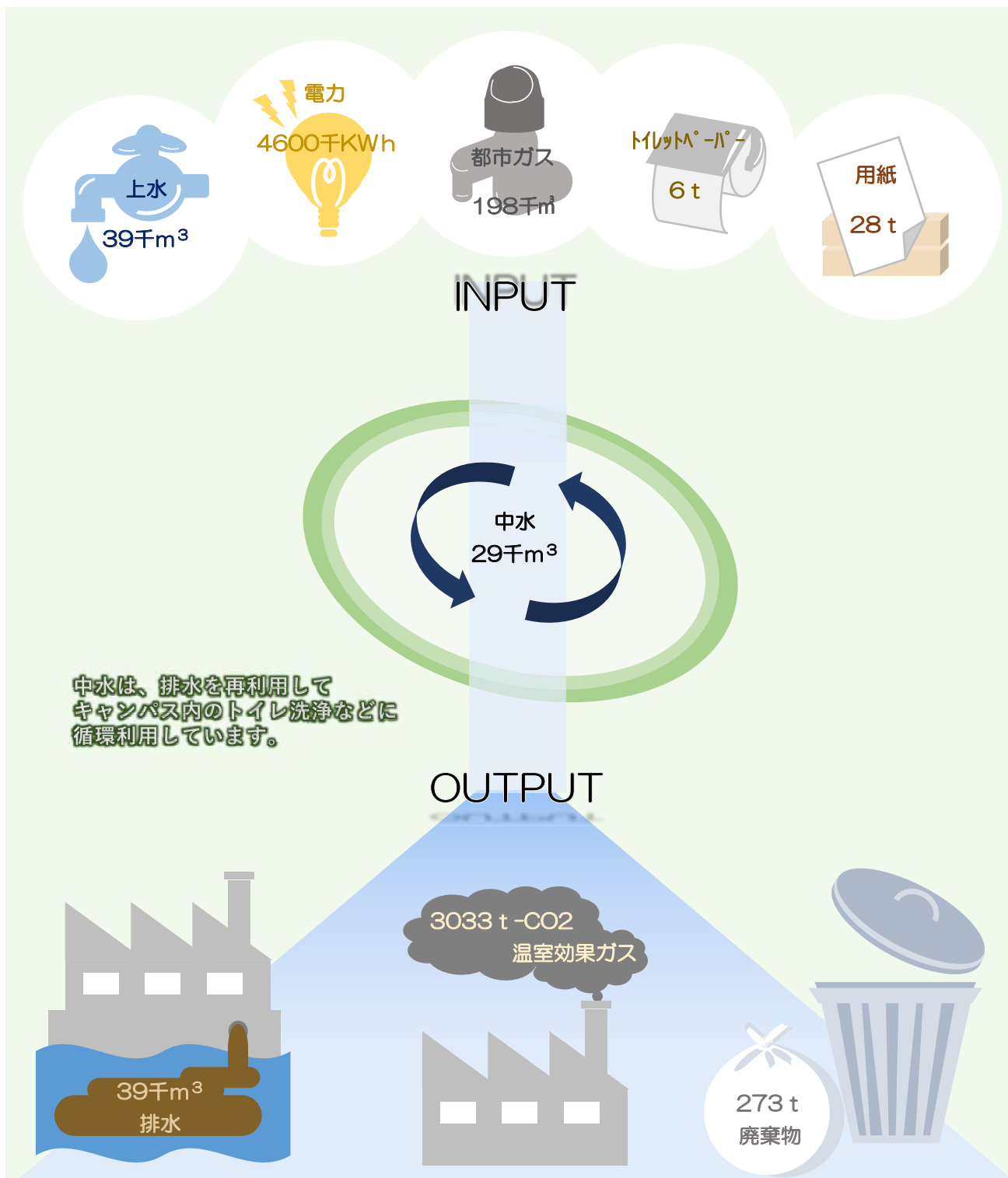
森林体験学習	■ 柏原市との連携協定に基づく、近隣の小学生を対象とした森林体験学習を本学学生ボランティアにより実施する。
グリーンアドベンチャー (社団法人青少年交友協会)	■ キャンパス内に設定されたコース上の植物の名前や生態を付設ボードのクイズを解きながら学習し、キャンパスを回る野外活動で近隣地域の住民にも開放する。キャンパスの豊かな自然の中で自然に親しみ、植物をとおして生命の尊さとそれを育む環境保全の大切さを体感させる。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ■ 星空を観察するという身近な方法で大気の汚れを実感し、大気汚染問題に対して関心をもって頂くことを目的とした「星空の観察会」の実施 ■ 幼稚園の遠足及び国際フェスティバル等の場所を提供する。

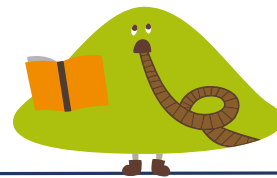
学内美化

雑草の刈り取りと ゴミの一斉収集	■ キャンパスクリーン週間を年間2回設け、教職員と学生による一斉雑草刈りとゴミの収集を行い、環境美化を図る。また、この週間中以外でも道具を貸し出し、有志で環境美化が実施できる対応とする。
植栽の剪定	■ 期日を決め定期的に剪定や草刈の実施をする。

マテリアルバランス

マテリアルバランスとは、大学の活動に伴う環境負荷の全体像で、大学の活動のために投入する資源等をINPUT、大学の活動結果排出する環境負荷をOUTPUTとして表したもので、平成29年度の大阪教育大学柏原キャンパスのマテリアルバランスは下記の通りです。

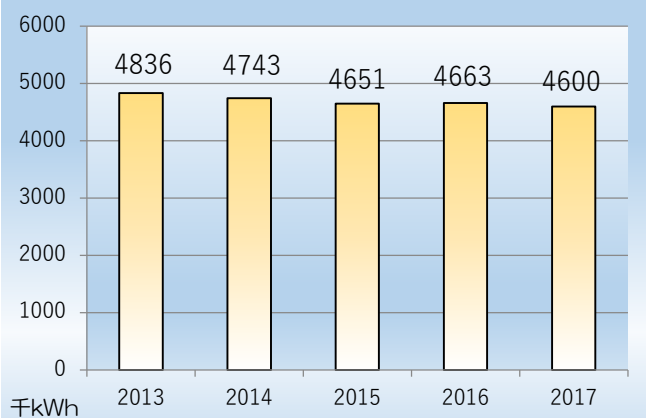




電力

- 電力使用量削減のため全学的な省エネ活動を推進しています。
- 2017年度は昨年に引き続き照明設備の高効率化を行うと共に、年間を通しての省エネ活動として、電力の平準化や節電等を実施したため、2016年度に比べ1.3%の電力使用量削減となりました。

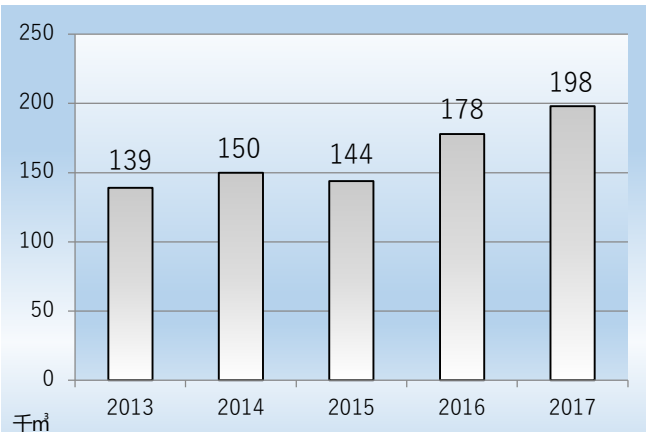
※柏原キャンパスのデータ



都市ガス

- ガス使用量削減についても全学的な省エネ活動を推進しています。
- 2017年度は、前々年度新たに増設したガスヒートポンプ空調機の稼働に併せ、夏期及び冬期の大きな気温変動に伴い、2016年度に比べ約11%の使用量増加となりました。

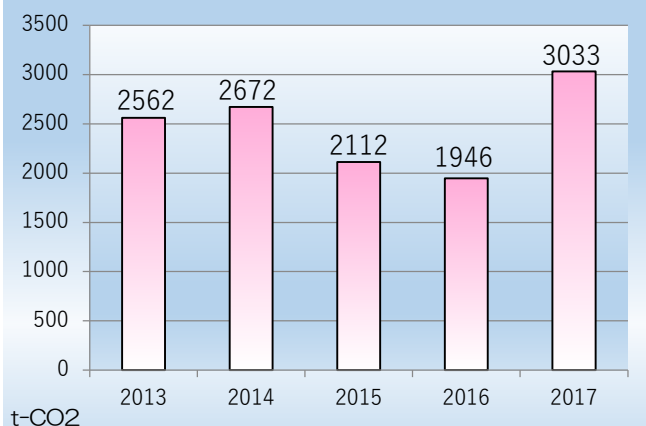
※柏原キャンパスのデータ



温室効果ガス

- 温室効果ガス排出量削減に努めています。
- 2017年度は、都市ガスの使用量が気温変動により増加し、また、使用するエネルギーの大半を電気が占めており、調達している電力会社のCO2排出係数の影響により、2016年度と比べ約56%の温室効果ガスの排出量が増加となりました。

※柏原キャンパスのデータ



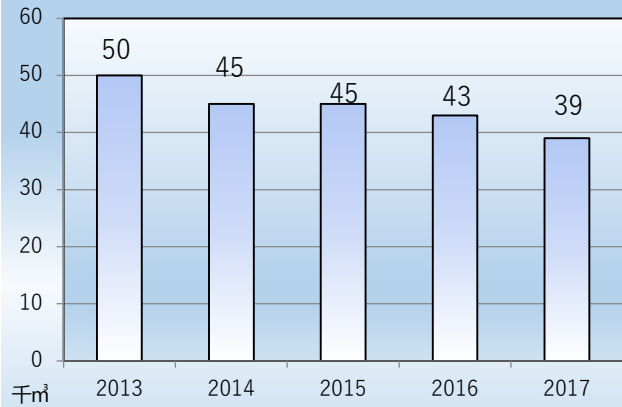
環境負荷データ



上水

- ※ 節水対策により水の使用量削減に努めています。
- ※ 2017年度の上水使用量については、2014年度及び2015年度に行ったトイレ改修により手洗いの蛇口が節水型自動水栓となり、節水の効果が現れたため、2016年度に比べ約9%の使用量削減となりました。

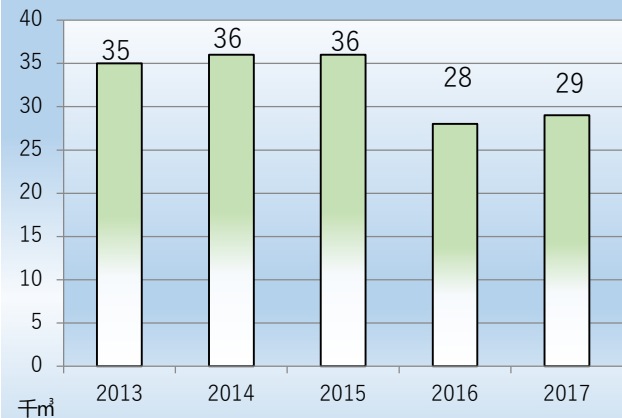
※柏原キャンパスのデータ



中水

- ※ 中水は排水を再生処理してキャンパス内で再循環利用しています。
- ※ 2017年度の中水使用量については、順次行ってきた便所改修で節水型便器となり2016年度に節水の効果が現れたが、それ以降は変動が少なく2016年度に比べほぼ横ばいの結果となりました。

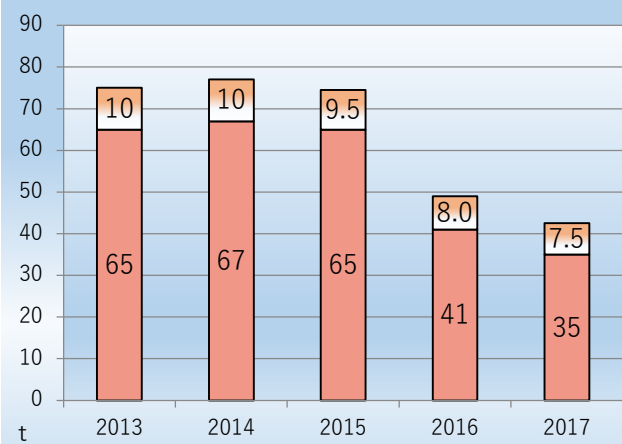
※柏原キャンパスのデータ



- トイレットペーパー
- コピー用紙

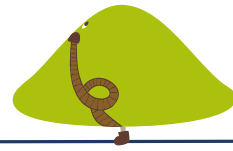
- ※ トイレットペーパーについては、便所改修に伴い洗浄便座を設置した効果が現れ、使用量の削減が見られます。コピー用紙については、学内グループウェアにより通知文書の電子化や電子会議の浸透によりペーパーレス化が進んだため、使用量の削減が見られます。
- ※ コピー用紙及びトイレットペーパーの節減に努めています。

※柏原キャンパスのデータ





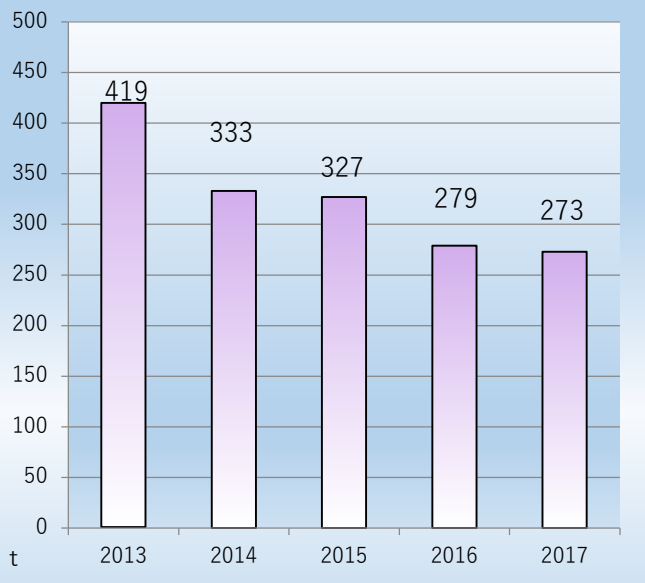
環境負荷データ



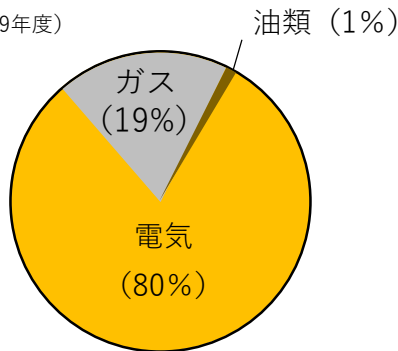
廃棄物排出量

※一般廃棄物、産業廃棄物の削減に努め適切な処理を行っています。一般廃棄物については、可燃物、缶類、ビン類等に分別し廃棄処分を行っています。産業廃棄物については、種類毎に回収し専門業者に処理の委託を行っています。(マニフェストの義務化)
また、特別管理産業廃棄物については、種類毎に回収管理し、専門業者に廃棄の委託を行っています。(マニフェストの義務化)

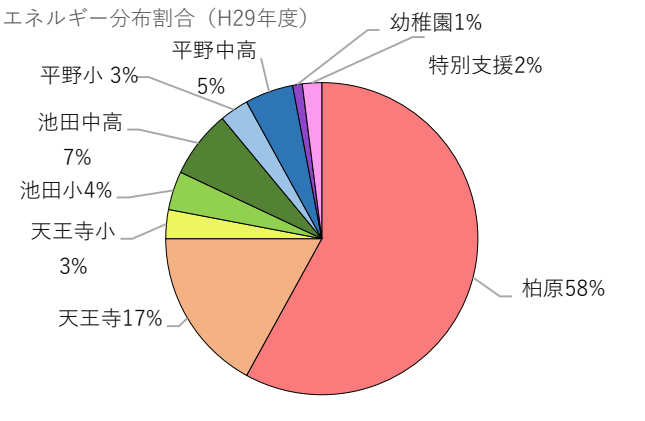
※廃棄物については、削減に努めることにより徐々に量を減じることができ、2016年、2017年は300tを下回る結果となりました。廃棄物は全て「廃棄物処理法」に基づき適正な処理を行っています。
※産業廃棄物は主に金属くず、木くず、廃プラスチック等を破砕した体積で、重量に換算しています。



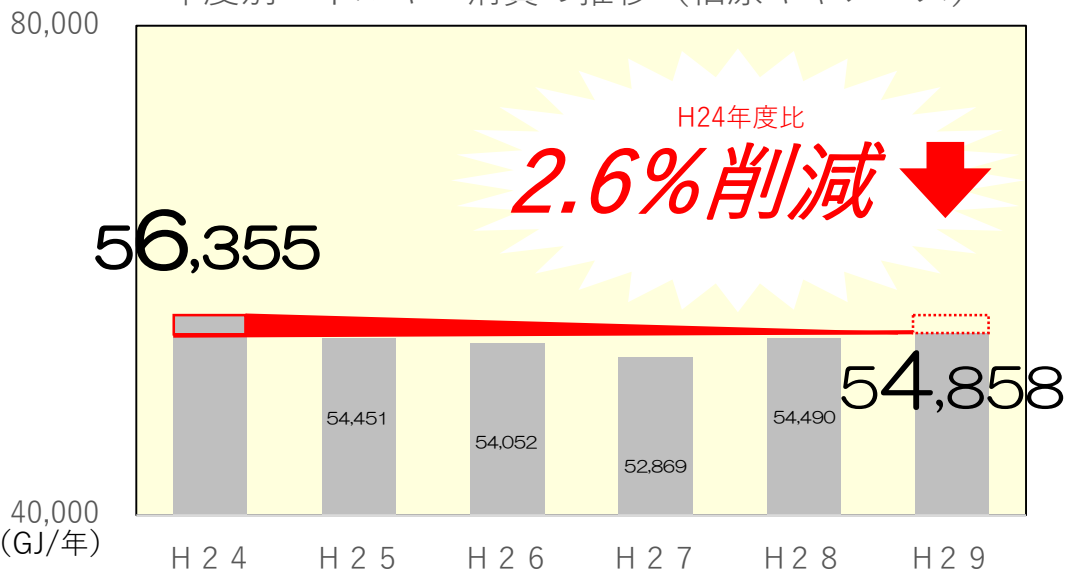
エネルギー消費の割合 (H29年度)



エネルギー分布割合 (H29年度)



年度別エネルギー消費の推移 (柏原キャンパス)



環境教育・研究活動の取り組み

講義

本学では持続可能な社会を創生するマインドを持つ、教員をはじめとする人材を育成するために、基礎教育段階における環境関連のカリキュラムを充実させています。

科目分類（分野）	科目名	受講生数
教養基礎（生命と環境）	はかってなんぼー環境をはかる	200
教養基礎（生命と環境）	地球と環境	48
教養基礎（生命と環境）	水と環境を考える	155
教養基礎（生命と環境）	大阪の環境と地球環境	323
教養基礎（生命と環境）	地球と災害	87
教養基礎（生命と環境）	暮らしの環境と地図	71
教養基礎（総合・現代教養）	生命・環境倫理	18
教職教養	環境教育論	8

研究

本学では教員養成に立脚した環境教育に関する研究、ならびに地球環境に関する研究が行われています。

研究テーマ	研究成果	キーワード
環境哲学	東西思想を架橋する和魂洋才の哲学 —中村敬宇、西周、加藤弘之一、大阪教育大学紀要 人文社会科学・自然科学66, 137-149	西洋近代哲学, 敗戦史観, 環境哲学
水質汚濁	河川の流下に伴う有機物の蛍光強度変化に影響を与える要因, 日本陸水学会近畿支部会第29回研究発表会, 陸水研究, 5, 64-65	河川環境, 有機汚濁
環境分析	光分解法を用いた河川水中の溶存態リン化学種のスペシエーション, 日本分析化学会第66年会, 講演要旨集, 306	環境指数, 水質分析, 光分解
富栄養化対策	野菜を用いた富栄養化原因物質の除去を示す教材開発の試み, 環境技術学会第17回年次大会, 予稿集, 24	水質改善, 環境教育, 教材開発
水質汚濁	大和川水系における三次元励起蛍光スペクトルと溶存態有機炭素の関係, 環境技術学会第17回年次大会, 予稿集, 41	有機汚濁, 河川環境



地域の水路での水質調査実習を通じて、学生たちは地域環境の保全について学びました。



環境マネジメント活動の推進

学内での取り組み

柏原キャンパスにおける自動販売機の公募について

平成30年度からの柏原キャンパスの自動販売機の設置及び管理運営について、本学の学生・教職員等への福利厚生の充実及び利便性の向上と本学の収益の改善を図るため、公募により広く優れた企画提案を募る企画競争方式により業者を選定しました。

公募にあたっては、光熱水費が高いカップ機の廃止や、複数台が隣接している箇所の集約等により、35台から21台へと大幅に設置箇所を見直しました。これにより柏原キャンパスにおける自動販売機の年間消費電力は68,400kWh/年から15,600kWh/年へと約80%の大幅な削減になる見込みです。

また、災害時に備え、学内数箇所に災害時に飲料を取り出すことのできる災害バンダー機を設置しました。大学と業者の間で、災害時の飲料等の無償提供について協定を締結しています。

削減が期待できる電力量及び温室効果ガス

- ・年間電力削減量 52,800kWh/年
- ・年間温室効果ガス削減量 27 t-CO₂/年



＊ 災害バンダー機

情報処理センター照明設備改修について



＊ LED照明器具に更新した教室

＊ 照明設備の改修

情報処理センターは築後22年が経過し、照明設備の老朽化が目立ち始めてきました。特に照度ムラのため、PCの画面にも影響が出ており、安定した照度と省エネルギーを図るために、情報処理センターの照明設備について改修を行いました。

これにより、照度ムラの改善はもとより、電力の削減と温室効果ガスの削減に寄与することになります。

削減が期待できる電力量及び温室効果ガス

- ・年間電力削減量 21,000 kWh/年
- ・年間温室効果ガス削減量 10 t-CO₂/年

生活排水、実験廃棄物について



＊ 排水処理施設

＊ 生活排水の処理

排水処理施設で生活排水を浄化し、それを中水としてトイレの小便器、大便器の洗浄水等に利用している。大阪教育大学柏原キャンパスでは、このように学内で水を循環利用しています。余った中水は学外の公共用水域へ放流しています。



＊ 実験排水処理設備

＊ 実験廃棄物の処理

本学の化学物質(実験用劇物等)の管理は、大阪教育大学実験廃棄物等管理会から各種法規制を遵守し適正に管理されている。その量、危険度に応じて、屋外と屋内(研究・実験室)に設置した管理庫に保管し、それぞれに管理簿(受払簿)を置き、厳重に鍵をかけ、外部への流出等を防止している。

環境マネジメント活動の推進

環境保全活動の状況

ecoウィークの実施について

本学では、省エネルギー推進委員会により、年度内に2回のecoウィークとして期間を設け省エネルギー推進のためのキャンペーン及びキャンパスの環境保全としてクリーンデーを実施しています。

＊ 省エネルギー推進キャンペーン

省エネルギー推進キャンペーンは、施設課職員が各研究室、実験室や執務室などへ巡回し、省エネルギー推進に関する提案ならびに指導を行い、より一層のエネルギー縮減となることを目的とし行っています。

第1回目は、柏原キャンパスを7月18日から7月21日の期間にて行った。

第2回目は、11ある附属学校園を10月23日から10月30日の期間において行いました。



＊ キャンパスクリーンデーの実施について

柏原キャンパスでは、ecoウィークとして年2回の実施を設けています。期間中には、キャンパス一斉クリーンデーとして学生ならびに教職員が参加するキャンパス内の草刈りや清掃などを行いました。

平成29年度は、第1回を7月19日（水）、第2回を10月25日（水）に行い、第1回では、猛暑の日より主に草木などの刈り取りを行いました。第2回では、草木の刈り込み、ゴミ拾い・清掃などを行い、どちらも見間違えるほどきれいになりました。



＊ 草の刈り取りの様子



＊ 清掃の様子

環境マネジメント活動の推進

環境保全活動の状況

附属平野中学校 再生可能資源を利用したバイオマスストーブの設置



＊ 生徒たちと薪ストーブ



＊ 実際の薪ストーブ

文部科学省の奨励研究費を元に、附属平野中学校の技術教室に薪ストーブを設置することができました。これは、技術・家庭科(技術分野)において、循環型社会における再生可能資源のリサイクルのあり方やカーボンニュートラルとして資源を計画的に育て利用することの重要性を理解する学習活動を開発するために、希望していたものです。具体的には、バイオマス資源のサーマルリサイクルに関する学習活動を実践するために、技術分野でのものづくり活動により発生した木質廃材を用いて燃料用ペレットを製造して、薪ストーブ暖房に利用することで生徒の理解を促す授業を試みました。授業の中で、循環型社会における再生可能資源の循環利用に関わる基礎的知識の定着や、生徒各自が考える省エネ活動を考えさせました。

また、多くの生徒が木質廃材利用したストーブ暖房に興味を持ち、環境にも優しい活用法であることを学びました。再生可能資源を利用した薪ストーブを設置することによって、生徒たちがリサイクルのあり方や循環型社会を身近に感じることができました。

本学大学院生が南極観測隊に参加 報告会を開催

本学大学院理科教育専攻2回生の杉浦裕紀さんが南極観測隊に参加し、その報告会を5月19日、20日に開催しました。杉浦さんは、第59次南極地域観測隊夏隊の同行者として、2017年11月から2018年3月にかけて南極に渡航しました。所属した観測チームでは、南極観測船「しらせ」の船上で、オーストラリア出航から南極の昭和基地到着までの間、大気中の微粒子(エアロゾル)の観測を行いました。南極到着後は、大陸上の「S17観測拠点」に約1か月間滞在し、自動気象観測装置の設置や、風や気温などによる雪面の変化を調べるレーザーキャン観測などに携わりました。

報告会で杉浦さんは、観測隊への参加は学部時代の恩師である小西啓之教授に誘われたことが発端だったと明かし、何でも自分自身で体験することが大切だという思いから今回の南極観測隊に参加したそうです。続いて、南極の実際の姿を写真や動画で紹介。また、夏の昭和基地は気温がプラスになり雪もかなり溶けること、S17観測拠点での日常生活などを解説しました。来場者から一番感動したことを聞かれると、「南極の月を見た時です。半月だったのですが、地平線の近くで半月が垂直に立っているというのは日本では起こり得ない。しかもそれが横方向に移動していきます。この月を見て、南極に来たんだと実感しました」と語りました。

来場者は「南極と言えば年中雪が降っている極寒の地というイメージだったが、実際は雪がほとんど降らないとか、夏の昭和基地ではTシャツで過ごせる日もあるとか、固定観念を覆す話がいっぱい聞いて面白かった」などと感想を話しました。



＊ 報告会での様子



＊ 南極で観測できた半月



環境マネジメント活動の推進

安心安全への取り組み

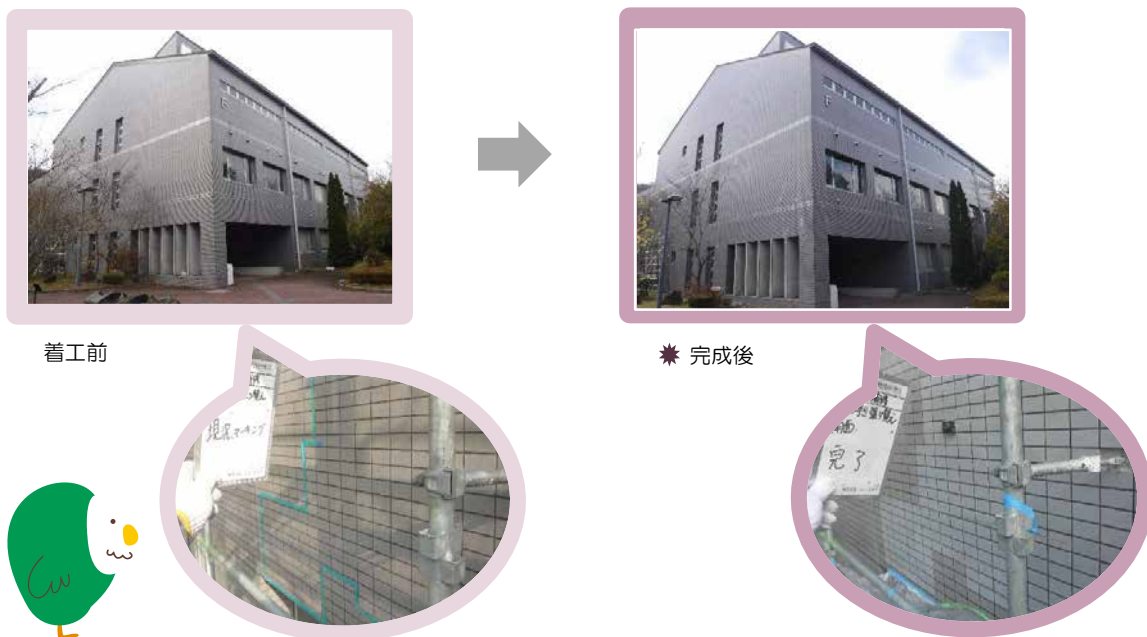
附属天王寺中高 クラブハウス建替えの実施について

附属中高の60・70周年事業として、老朽化したクラブハウスの建替を実施しました。設計のプロセスにおいて、生徒とのワークショップを実施し、実際に使用する生徒たちの要望やクラブ活動の実態に即した設計内容をするにより、機能的で安全・安心なクラブ活動環境を整備しました。既存のイチョウの木を残し、クラブハウスのシンボルツリーとして中庭に取り囲み、緑を通して日射をコントロールしつつ通風により温熱環境の向上を目指しました。



柏原キャンパス 美術棟外壁改修の実施について

災害時に安全な避難経路を確保する目的で、美術棟の外壁改修工事を実施しました。足場を組みタイルの剥落の恐れがある箇所を調査し、浮いているタイルは貼替えを行うなど、外壁改修工事を行いました。



環境マネジメント活動の推進

安心安全への取り組み

柏原キャンパス 点字ブロック修繕の実施について

柏原キャンパスでは継続的に点字ブロックの修繕をおこなっています。古い点字はビニル床タイル製品で経年劣化で接着力が弱まりめくれている箇所が多々あり、歩行者がつまづき転倒しかねない状況です。また、インターロッキングブロックは経年により基材の砂が減少し、建物の床と段差が生じてきています。少しずつではありますが、耐候性・摩耗性に優れた浸透型視覚障害タイルへの改修、インターロッキングについては不陸修正をおこない、すべての人に安全安心な環境づくりを目指しています。



着工前



＊ 完成後

附属平野小学校 囲障改修の実施について

学校敷地周囲に残る老朽化したRC塀およびブロック塀の改修を行いました。この塀は昭和初期築造の鉄筋コンクリート製で、ひび割れにより地震時の危険性が懸念されるものでした。基礎のコンクリートを残し、上部をフェンスにすることで軽量化を図り、また老朽化したブロック塀もフェンスに改修することで、児童および近隣への安全を確保しました。



着工前



＊ 完成後



着工前



＊ 完成後



環境マネジメント活動の推進

地域社会への取り組み

里山回復プロジェクト

平成26年度から認定NPO法人シニア自然大学校の厚意により、里山回復プロジェクトが進行中です。

柏原キャンパス敷地内には、元々里山として利用されていた二次林が多くありますが、長年手入れをしていなかったことにより、放置林となっている箇所も見られます。これらを、里山の景観を有する雑木林として整備復元するとともに、本学学生の森林実習地としても活用できるよう、伐採等の整備を行っていただいています。

作業は約0.4haの対象エリアを約100㎡の区画に分けて、年に5回程度、毎回15名から20名の方にご参加いただき、伐採等の作業を行っていただいています。

平成29年度には全区画でおよそ1,600本あったヒサカキの皆伐が完了しました（全樹木本数の約54%）。陽当たりがよくなってきたことで、対象エリア内でラン科の植物やスミレが芽生えてきました。今後もこういった植物が生育する里山林を復元するため、プロジェクトを継続していただけるとのことで、大学としても大いに期待しています。



作業前



対象エリア



作業の様子

✳ エリア内で観察されたラン科の植物



✳ エリア内で観察されたスミレ



環境マネジメント活動の推進

地域社会への取り組み

イエロー・ライン・プロジェクトについて

※ 事業概要

地域(学校園, 市民, 商店街, 行政等)と連携し, 人とアートと環境を結んで, 地域活性化・まちづくりに貢献し, 広義の循環型社会実現を目指すことです。また, 学内, 地域に展開する「菜の花, ひまわり, 河内木綿栽培」及び「ワークショップ等実施」, 市公式イベント・プロジェクトなどへ協力参加しています。

※ 実施状況・成果

地球環境意識の転換が求められる中, 将来, 地域の教育を担う人材を育てる教育大学として, 人と環境の関係を意識していくことは大変重要であり, 本事業では, 特にアートの可能性に焦点をあて, アートを軸足にしたワークショップ・イベントの場を作り, 地域社会との連携・協働など, 本学独自の地域貢献活動を模索展開しています。今年度は, 特に, これまで少しずつ取り組んできている「小学校現場との連携協働活動」を発展展開することを目的とし, 地域におけるCOCの観点から, アートの可能性を教育現場で, どのように活用できるのか探っています。効果としては, アートをベースにした地域連携の展開から, 地域に根差した学士力育成の場の創出, 地域教育機関への協力貢献やエコ・コミュニケーションを通じた多様性意識の啓発, 環境教育や循環型社会意識体験の場の創出などの成果がありました。



＼ Facebookで日ごろの活動を発信 ／



大阪教育大生協の省エネルギーに関わる取り組み

生協においても夏と冬の2回、大学をあげての省エネキャンペーンに生協としても積極的に協力しております。日常の店舗においては、お客様に快適にご利用いただくために室温や冷蔵・冷凍ショーケースなどを多用するためなかなか削減することはできませんが、事務系統の室温や事務機器の不在時電源OFFなどに取り組んでいます。また、店舗の改修などの際には、照明をLEDに変えたり、機器を省エネタイプに変えるなどの取組を行っています。

大阪教育大学・27年度夏季省エネキャンペーン

生協の省エネキャンペーン

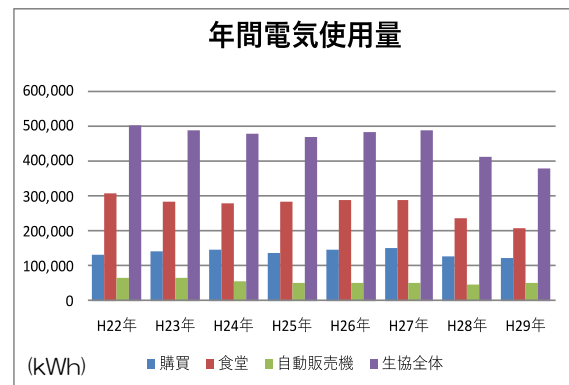
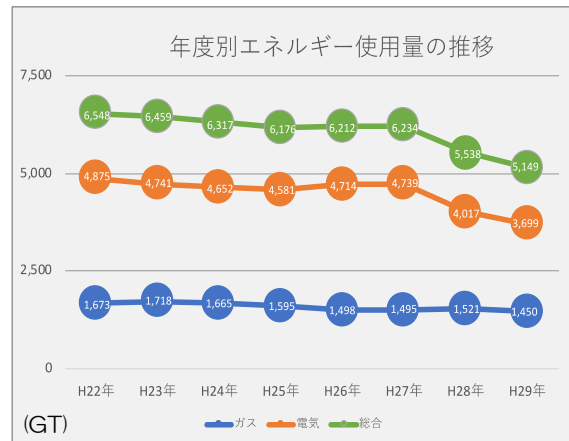
【主な節電実施項目】

- TERRA・第2食堂・カフェ・レストランFORET
ホール照明の開店前消灯および閉店後即時消灯、昼間時窓際消灯
- 自動販売機の照明の終日消灯
- 空調(冷房)の設定温度管理
- 空調(冷房)の営業終了時停止
- 空調・冷蔵ショーケースのフィルター定期清掃
- 出入口の開放厳禁(混雑時以外)
- 事務機器電源OFFの徹底

全学をあげての省エネ推進のため、生協も様々な節電に取り組んでいます。組合員の皆さんも、食堂やショップアイリスのドアを開いたら閉める等、ご協力をお願いいたします。

UNIV. CO-OP 大阪教育大学生活協同組合

※ 組合員への協力およびかけポスター



環境マネジメント活動の推進

大学生協での取り組み

大阪教育大生協の環境保護に関わる取り組み 「リサイクルのとりくみ」

生協では、テイクアウトショップで販売する弁当の容器としてリサイクル可能な「リ・リパック」を使用しています。2017～2018年度では生協学生委員会が二度にわたり企画を実施しました。2017年度は「リ・リパックの良さを知ってもらい、正しいはがし方を身につけ、手にした時に回収してもらおう」を目的に、2018年度は「楽しい企画によって普段回収しない人に興味を持ってもらうことでリ・リパックの存在を知ってもらい、回収率をあげる」を目的にリサイクルを促進しました。どちらの企画も回収していただいた組合員にお菓子をプレゼントすることで手軽に回収するきっかけをつくりました。他にも学生委員会のTwitterや大学の広報課が運営するTwitterを使用してリ・リパックの回収を紹介したり、回収BOXを「生まれ変わるならどっち?」という質問形式の投票箱にしたりしています。これらの活動を通して少しでもリ・リパックの回収率の向上に努めています。

リ・リパックワールドほんぽごほ〜ん大作戦!!

《内容》
リ・リパックを指定の場所に持ってくるだけで景品がもらえます！ご飯を食べることができて、しかも持ってくるだけで景品がもらえるなんて一石二鳥！！ぜひ、ご参加ください！

《方法》
スタンプカードとリ・リパックをご持参ください。スタンプの数によって買える景品が異なります！スタンプカードはサンクンとA棟の215・216前にて配布しています！

《景品一覧》
スタンプ
1個目→パイナップル
2個目→チョコ
3個目→うまい棒
4個目→ブラックサンダー
5個目→チャージ券

《集めている場所》
A棟 215・216前
サンクン

日時：11月13日～11月17日

※注意
リ・リパックを一回持参でスタンプ一個です。例えば、リ・リパックを5個持って来たとしても持参している回数は一回なので、スタンプは一個です。

他の回収BOXでもサブ企画開催中！！内容の詳細は…Twitterまで！！

生協学生委員会 @daikyougaku



リ・リパックのお菓子ハント
〜もう1回遊べる丼〜

テイクアウトショップや第二食堂で提供されているリ・リパックは、実はリサイクルすることができるんです◎

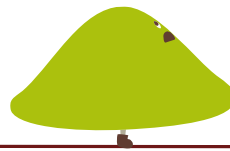
～企画期間～
◎ 7月9日～景品がなくなるまで
◎ 時間：昼休み（12:15～12:50）
◎ 場所：A-215前 & アイリス前の階段上

～内容～
◎ 持ってきてくれたりリパック1個につき、お菓子を1すくいすることができます◎
* 3個以上持ってきても、3回以上は引けません！

中協学生委員会



第三者意見



第三者との意見交換会

平成30年9月6日、本学と契約している関西電力株式会社（電気供給）、大阪ガス株式会社（都市ガス供給）、オリックス・ファシリティーズ株式会社（昇降機設備保全業務）の方々に、本学の「環境報告書2018」に対するご意見を伺いました。

当環境報告書に反映できる点は改善し、その他の意見は来年度の環境報告書の作成の参考にしていきます。



主な意見	回答
<p>★ 8ページ</p> <ul style="list-style-type: none"> 自己評価欄の▲標記（一部達成）について、達成出来なかった理由を記載した方がよいと思われま。 	一部達成出来なかった理由を記載します。
<p>★ 9ページ</p> <ul style="list-style-type: none"> エネルギー使用量及び温室効果ガス排出量削減に関し、ソフト面での実施内容を記載したほうが良いと思われま。 省エネルギー・省資源の推進の項にフロン法に基づく定期点検の実施は記載されているが、簡易点検も実施する必要があるため、記載した方が良いと思われま。 	削減に至るソフト面での取り組みを記載します。 簡易点検も実施していますので、「点検」という表現にします。
<p>★ 11ページ</p> <ul style="list-style-type: none"> 単に「ガス」と書いてある箇所があり、「都市ガス」を指していると思われるが、用語を統一した方がよいのでは？ 	用語を統一します。
<p>★ 13ページ</p> <ul style="list-style-type: none"> エネルギー消費の割合を示す円グラフに記載の電気（80…とは何を意味するのか） 同上のガス（19%）の円グラフ標記で濃淡がつけられているため見にくくなっています。 	円グラフ標記を（80%）に修正します。 見やすくなるよう修正します。
<p>★ 15ページ</p> <ul style="list-style-type: none"> 学内での取り組みについて、省エネルギー活動としてソフト面で実施されている取組、例えばエレベーターの運用など、積極的に取り組んでいることを記載した方が良いと思われま。 	エレベーターの運用等は、毎年実施しています。平成29年度の省エネルギーの取り組みとして、柏原キャンパス自動販売機の設置台数の見直しを行ったことについて記載しました。
<p>★ 22ページ</p> <ul style="list-style-type: none"> 大学生協の省エネルギーに関する取り組みに記載のグラフデータに単位が記載されていないため、記載した方が良いと思われま。 	単位をグラフ内に記載します。

ご協力ありがとうございました。



環境省「環境報告ガイドライン（2012年版）」	大阪教育大学 環境報告書2018
環境報告の基本的事項	-
1. 報告にあたっての基本的要件	-
(1) 対象組織の範囲・対象期間	大阪教育大学環境報告書2018の作成にあたって
(2) 対象範囲の捕捉率と対象期間の差異	大阪教育大学環境報告書2018の作成にあたって
(3) 報告方針	大阪教育大学環境報告書2018の作成にあたって
(4) 公表媒体の方針等	裏表紙
2. 経営責任者の緒言	学長挨拶
3. 環境報告の概要	-
(1) 環境配慮経営等の概要	大学概要
(2) K P I の時系列一覧	環境マネジメント活動の推進 ・ エネルギー削減の取り組み
4. マテリアルバランス	マテリアルバランス
「環境マネジメント等の環境配慮経営に関する状況」を表す情報・指標	-
1. 環境配慮の方針、ビジョン及び事業戦略等	-
(1) 環境配慮の方針	環境方針
(2) 重要な課題、ビジョン及び事業戦略等	環境配慮実施計画
2. 組織体制及びガバナンスの状況	-
(1) 環境配慮経営の組織体制等	環境マネジメント組織
(2) 環境リスクマネジメント体制	環境マネジメント組織
(3) 環境に関する規制等の遵守状況	環境マネジメント組織
3. ステークホルダーへの対応の状況	-
(1) ステークホルダーへの対応	環境マネジメント活動の推進 ・ 地域社会への取り組み
(2) 環境に関する社会貢献活動等	環境マネジメント活動の推進 ・ 地域社会への取り組み 環境マネジメント活動の推進 ・ 学生の取り組み
4. バリューチェーンにおける環境配慮等の取組状況	-
(2) グリーン購入・調達	グリーン購入法及び環境配慮契約法への対応について
(3) 環境負荷低減に資する製品・サービス等	環境マネジメント活動の推進 ・ 環境教育・研究の取り組み
(4) 環境関連の新技术・研究開発	環境マネジメント活動の推進 ・ 環境教育・研究の取り組み
(7) 環境に配慮した廃棄物処理／リサイクル	環境マネジメント活動の推進 ・ 学内での取り組み
「事業活動に伴う環境負荷及び環境配慮等の取組に関する状況」を表す情報・指標	-
1. 資源・エネルギーの投入状況	-
(1) 総エネルギー投入量及びその低減対策	環境負荷データ
(2) 総物質投入量及びその低減対策	環境負荷データ
(3) 水資源投入量及びその低減対策	環境負荷データ
2. 資源等の循環的利用の状況（事業エリア内）	環境マネジメント活動の推進 ・ 中水利用の取り組み
3. 生産物・環境負荷の産出・排出等の状況	-
(2) 温室効果ガスの排出量及びその低減対策	環境負荷データ
(3) 総排水量及びその低減対策	環境負荷データ
(6) 廃棄物等総排出量、廃棄物最終処分量及びその低減対策	環境負荷データ
4. 生物多様性の保全と生物資源の持続可能な利用の状況	環境マネジメント活動の推進 ・ 環境保全活動の取り組み
「環境配慮経営の経済・社会的側面に関する状況」を表す情報・指標	-
1. 環境配慮経営の経済的側面に関する状況	-
2. 環境配慮経営の社会的側面に関する状況	環境マネジメント活動の推進 ・ 安全安心への取り組み
その他の記載事項等	-
1. 後発事象等	-
2. 環境情報の第三者審査等	第三者意見

編集チーム



施設課

課長 岩田幸三
課長代理 西本正信
(企画係長併任)

機械係 係長 河瀬修治
丸山辰何
電気係 係長 堀内保彦
建築係 係長 大高史彦

企画係 数内君子
伴海和彦
前田祥行
寺田由乃
久米志織
森 和美
宮崎圭子
中野智貴

インターアップ





お問い合わせ先

国立大学法人 大阪教育大学

総務部施設課企画係

電 話：072-978-3333

F A X：072-978-3345

M A I L：sisetuka@bur.osaka-kyoiku.ac.jp

U R L：http://osaka-kyoiku.ac.jp/



大阪教育大学は、この自然に囲まれたキャンパスの立地環境を活用し、生きた教材として、優れた環境人材の創出を目指します。本学の学生・教職員の環境への取り組みにご理解いただき、ご指導、ご支援をお願いいたします。

環境報告書ホームページ：

<http://osaka-kyoiku.ac.jp/university/kikaku/houtei/index.html>

